オールドホームの灰羽達

安倍吉俊

定規でまっすぐに線を引くみたいに
私は空を落ちてゆく
温かな太陽の光に包まれて
でも胸の中はチリチリした痛みでいっぱい
不思議な幸福感に包まれているのに両手と心臓のあたりがひどく冷たい
空は怖いくらい明るく蒼いのに
この心の昏さはなんだろう——

ボンッ
!!
ゴポポ
ガリッ
あ
いま
中で動いた
ホント?

つぽっ
ここ・・・・どこだろう？
水の中なのに息ができる・・・・でも・・・・苦しい
手の感覚がない・・・・・
気を失いそう・・・・・怖い・・・・・
ここにいちゃいけないって言われているみたい・・・・
早く 外へ・・・・・出ないと・・・・・
待ちくたびれたヨー もうアタシらで割っちゃおうヨー
タリ〜
ダメだよ！シキタリなんだから！

自力で殻を割らないと病気がちな子になっちゃうんだって
メーシンだってそんなの
・・・・・・私 見てるからさ タリかったら先 帰っていいよ カナ
あっ！ねえ こっち なんかカリカリいってる！
バリッ
バシャー
わーー!!
ぞーきんぞーきん!!
わーんスカートがあ!!
立入厳禁!!
ガタン
べしゃ
おっ！お・・・
パキ
ピュー
ん？

ふわっ
雲――
まだ夢の中に
いるんだ・・・
むぎゅ
――
はやく覚めて
あれ?――
どこだろう・・・・
知らない部屋
知らない空気・・・
変な布・・・
木の実みたいな
匂いがする・・・
でもなんか
ごわごわだなあ
・・・
どや
どや
あっ
起きたんだ
――

だからさ 私留守番するって いったのに
ヒカリは ワッカ係じゃん
ごめんね ちょっと買い 出し行ってて
もう起きて 平気？
繭籠り 長かったし 心配した
気分は？
は はいっ あの
えっと・・・
ホラ いっぺんに 喋らない！ 混乱しちゃう じゃない
まだ こっち来た ばかりなのに
ハーイ
バタバタしてゴメンね 私はレキ ここ私の部屋だけど 客間みたいな モンだから しばらく自由に 使っていいから
は はい でも えーと・・・
あ コレね
うん 今 順を追って 説明するからね

ね 夢の話をしよう
あなたの見た夢を話して
ガタタ
夢？
そ 見たでしょ。こっちに来るときに
んっと どこか・・高い ところから
落ちちゃう夢 だったと思う・・
あー あなたと おんなじだ
じゃあ もうちょっと 詳しく どこから どんな風に とか・・

だったら無理
しなくても
まっすぐ　すうっと
私も空飛ぶ夢だった
も寝ていたという筋金
入りのねぼすけのネム
ん
んー
んー　じゃあさ
落ちてきたんだから
落下にしよう
あなたの名前は
ラッカ

あ
あれ!?
私の名前・・・?
あなたが何者であったのか
もう誰も知らない
もちろん
あなた自身も
あなたの灰羽としての
未来の標となるように
この光輪を授けます
あ 熱いから気をつけて

うん
完璧！
できたての証拠
明るくていいじゃん

私たちは羽が伸びた頃
ぴこぴこ
ん
これから大変
話か進まないからね
することになってる

アンタにも じき
どっか寝違えたのかと思ってたけど
だけだから
早いみたい
説明するはずだったのに

チクッときて、そのあと
わーっと熱か出るけど
熱はすぐ引くし 背中の

3
1
4
2

あとがき

オールドホームの灰羽達は、数年前に出した『灰羽連盟』という同人誌に
描いた天使の落描きをもとにした物語です。
とはいっても、灰色の羽と光るわっかがついているという以外設定らしい設定のない
落描き本だっので、灰羽という奇妙な生き物と、その世界について
今回改めて設定をつくることになりました。
毎回20～30ページ程度で、トータル100ページ前後の物語に
しようかと思っています。
多少のんびりと大きめにコマを割りたいのでページ的にはもう少し
長いものになるかもしれませんが、まああまり気負わない、読み心地のよい小品に
なればと思っています。
商業誌の連載もののようなヒキはあまりつくらなくてもいいかなと思ったので、
ちょっと半端なところで話を切ってしまいましたが、次の本で世界観は
だいたい説明できると思います。
のんびりおつきあいいただければ幸いです。

奥付

オールドホームの灰羽達

発行責任者	ＡＢ/安倍吉俊
発行元	むてけいロマンス
発行日	2002年04月11日
連絡先	ab@m2.people.or.jp

無断転用を禁じます

C C F

C C F

C C F

C C F